



# 第59期 報告書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

日本アビオニクス株式会社

証券コード：6946



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第59期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業の概況等につきましてご報告申し上げます。

まず、当期におけるわが国経済は、平成20年9月の米国大手金融機関の破綻をきっかけとする世界的な金融不安とそれに伴う世界同時不況の発生により、これまで日本経済を牽引していた自動車産業をはじめとする多くの企業の業績が急激に悪化し、経済危機といえるような非常に厳しい経営環境となりました。

当社グループの関連するエレクトロニクス業界におきましては、世界的な需要の減少、デジタル民生機器の価格競争激化に伴う単価の下落、企業収益の悪化による民間設備投資の抑制等の影響により非常に厳しい状況となりました。

このような状況の中で当社グループは、新市場創造に向けて、デジカメサイズで携帯性と操作性に優れた赤外線サーモグラフィ装置「サーモショットF30シリーズ」や正面以外の場所でも投映可能なプロジェクタ「iP-65シリーズ」などの新製品を発売しました。

また、急速に経済環境が悪化する中で売上を確保すべく新製品の拡販に努めるとともに販売店と連携して新市場の開拓、既存市場の深耕を行いました。

しかしながら、民需製品においては、経済環境の悪化による影響を補うことができず、また情報システム製品が大型プロジェクトの端境期であることから当期における業績は、受注高が291億91百万円（前期比16.1%減）、売上高は283億92百万円（前期比21.9%減）となりました。

損益に関しましては、役員報酬や従業員給与等の減額、一時帰休の実施等の固定費の削減や資材費の削減等を全社一丸となって推進したものの、経済悪化に伴う売上減少による影響を補えず5億55百万円の経常損失となり、今後成長が望めない事業から撤退することによる事業構造改革損失等の特別損失を8億42百万円計上したことから16億68百万円の当期純損失となりました。

これらの状況を鑑みまして、まことに遺憾ながら、期末配当につきましては無配とさせていただきます。

次に今後の見通しにつきましては、日本政府のさまざまな経済対策の効果が期待されるものの、世界経済の先行き不安、企業収益の大幅な悪化とそれに伴う設備投資の抑制等により予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような状況の中で、当社グループといたしましては、次の諸施策により、業績の向上に向けて全社一丸となって邁進する所存であります。

- ① 経済環境が好転しなくとも着実に収益が確保できる体制の構築を目指し、現下の不況を乗り切るために下半期に実行した人件費を含む緊急固定費削減対策を次期においても当面継続することとし、次の施策の不断の実行により、売上の変動に強い企業体質への転換に取り組んでまいります。
  - ・ 業務プロセス改革による効率の向上
  - ・ あらゆる費用の徹底的な削減
  - ・ 資材費の徹底的な削減による製造原価の低減
  - ・ 不採算製品の見直し
- ② 当社グループの基盤事業である情報システム製品は、当社独自技術の提供により既存市場を堅持しつつ、今後成長が望める航空宇宙分野での売上の拡大を目指してまいります。
- ③ 戦略成長事業においては、「市場創造型企業」への転換に向けて既存製品のアプリケーション拡大による新たな市場の開拓、新市場を創造し得る新製品の開発等を進め、その実現に必要なアライアンスも含めて着実に実行してまいります。
  - ・ 赤外線機器では、既存市場に加えセキュリティ、環境等の新市場への参入を加速するとともに新製品の開発、コンサルティングの強化などにより新たな市場の創造とグローバルシェアのさらなる獲得を目指してまいります。
  - ・ 接合・検査装置では、成長が見込まれる太陽電池等の環境対応市場やMEMS市場へ当社独自技術の提案とソリューションの提供により進出を加速してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月  
代表取締役執行役員社長

鈴木俊一

### 情報システム部門

#### 主要製品

誘導・搭載関連装置、表示・音響関連装置、指揮・統制関連装置、ハイブリッドIC

**売上高 126億54百万円**  
(前期比27.4%減)

情報システム製品については、受注は増加したものの、売上は大型プロジェクトの端境期のため減少しました。



### 電子装置部門

#### 主要製品

映像機器、赤外線機器、情報端末機器、工業計測機器

**売上高 86億54百万円**  
(前期比19.7%減)

電子装置製品については、世界同時不況の影響による民間設備投資の抑制や価格競争の激化などにより受注、売上とも減少しました。

#### □インテリジェントプロジェクタiP-65



スクリーンの正面以外の角度ある位置にも設置可能な、高精度413万画素書画カメラを内蔵したプロジェクタです。

#### □赤外線サーモグラフィ装置F30



スタイリッシュ＆コンパクトな赤外線サーモグラフィです。デジカメのように使いやすいデザイン、300gの超軽量ボディで、従来の計測器のイメージを一新しました。

## 製造装置部門

### 主要製品

製造・検査機器、プリント配線板

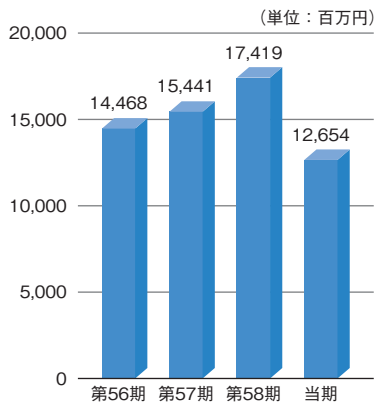
**売上高 70億84百万円**  
**(前期比13.2%減)**

製造装置製品については、プリント配線板は半導体試験装置市場向けの需要低迷が続いた影響から受注、売上とも低調に推移しました。

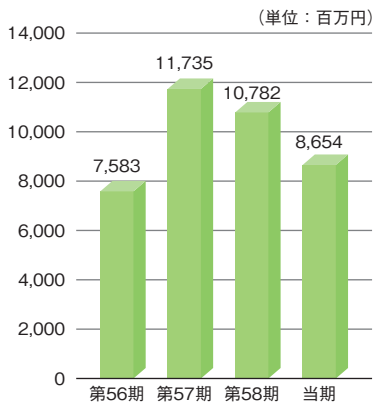
製造・検査機器は、特に電子部品製造用接合装置が上半期はアジア向けの輸出を中心に好調であったものの、下半期に入り一転、電子部品の需要低迷の影響を受け大きく減少したことから受注、売上とも減少しました。

## 部門別の売上高推移

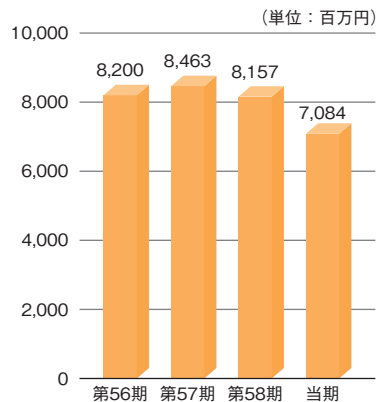
### 情報システム部門



### 電子装置部門



### 製造装置部門



### □インバータ式溶接電源



NAW-IN8400 (左) NAW-IN4200 (右)  
グローバル化に対応すべく電源仕様を強化し、安定した生産と品質を確保するために機能・性能をさらに向上させたインバータ式溶接電源です。

### □レーザはんだ付け／樹脂溶着電源



レーザ光により電子部品のハンダ付けや樹脂の溶着を行います。出力波形を自由に設定できるので多彩で信頼性の高い接合ができます。

## —メキシコ合衆国向け緊急援助物資—

### 新型インフルエンザ対策用 サーモグラフィシステム (TVS-500EX) を納入

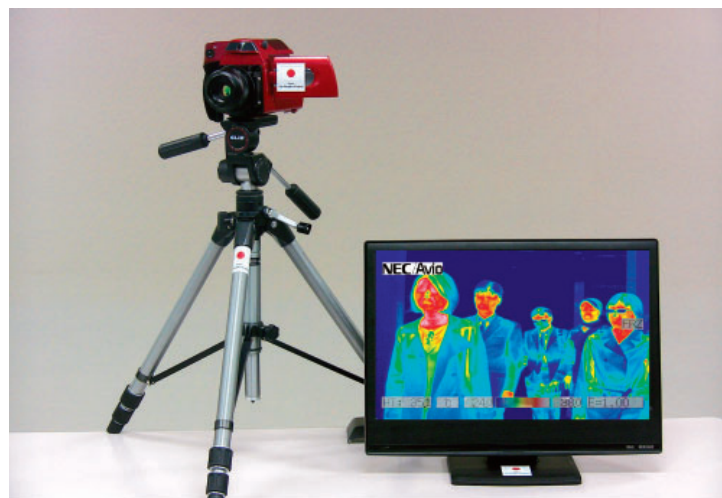
当社子会社であるNEC Avio赤外線テクノロジー株式会社は、このたび、日本国政府による緊急無償資金協力を受けたメキシコ政府に対しサーモグラフィシステム (TVS-500EX) 25台を納入いたしました。

サーモグラフィは、物体から自然に放射される赤外線強度を解析して温度分布を映像化する装置で、主に電子機器の温度測定、プラント設備の熱ロス診断や建造物の非破壊検査など科学・計測市場において幅広い分野で活躍しています。

そして、空港・港湾の検疫所に数多く設置されたサーモグラフィは、新型インフルエンザの感染拡大防止の水際対策として、渡航者の人体表面温度のスクリーニング検査に活用されています。

今回納入いたしましたサーモグラフィ (TVS-500EX) は、発熱と疑わしき方を早期に発見できるように、人体表面温度が設定温度を超えた場合には、モニタTVの画面上に色アラームとアラームメッセージを表示することを可能としています。

当社グループは、このサーモグラフィで、メキシコ政府が、検疫等の必要な措置を一層強化できることを期待するとともに、今後も、新型インフルエンザの感染拡大防止に向けた国際的取り組みの一助になるべく尽力し、安全・安心で人と地球にやさしい社会の実現に貢献してまいります。



## インテリジェントプロジェクタ iP-01U

当機種は、販売対象を文教市場（幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学）に限定した商品です。

当社の【インテリジェントプロジェクタ iPシリーズ】は、一般のプロジェクタと同様にパソコン画面やビデオ・DVD等の映像が投射できるほか、印刷物や立体物をそのまま映し出せる書画カメラ機能を備え、教材などを「載せれば映る」プロジェクタとして、「わかりやすい教育が行える」とご好評をいただいています。この新製品は、教育現場で特にご要望の多かった投射距離の短縮（弊社従来比55%）を実現する短焦点レンズを搭載したほか、USBメモリでの投射など教育現場での使用に最適な各種機能を備えています。



### 主な特長

#### 短焦点レンズ採用

本機を教卓に置いて、黒板へ大画面投射することができます。（画面サイズ60インチ時の投射距離1.2m） 児童・生徒の机を移動したり教室内のレイアウトを変えることなく使用できます。

#### 315万画素書画カメラ内蔵

教育現場で多く使われている書画カメラ（資料提示装置）をプロジェクタ本体に内蔵しています。本体上部のガラス面の下にカメラが入っており、提示したい資料や立体物をガラス面に置くだけですぐに大画面へ映し出すことができます。

#### USBホスト機能

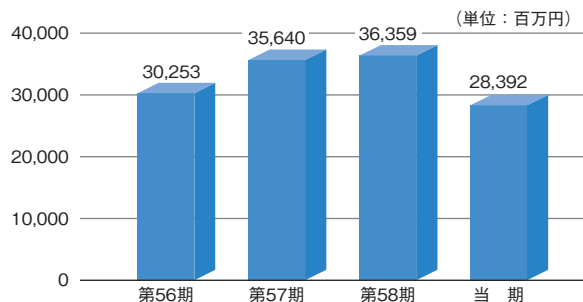
前もってプレゼンデータをUSBメモリに保存しておけば、パソコンを使わずにデータをプロジェクタで再生・投射できます。また書画カメラで投射した資料もUSBメモリに保存・再生可能です。



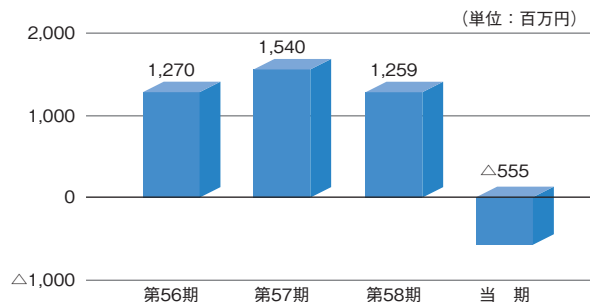
本体上部のガラス面に置いた資料をすぐにスクリーンへ投射します。

## 連結

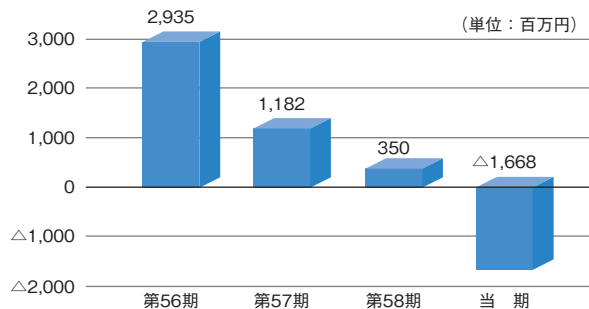
### ■ 売上高



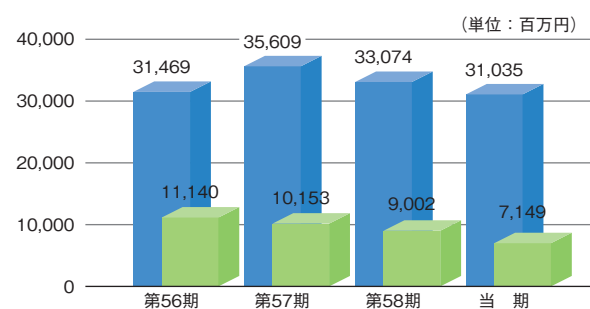
### ■ 経常利益



### ■ 当期純利益



### ■ 総資産 ■ 純資産



## 連結業績の推移

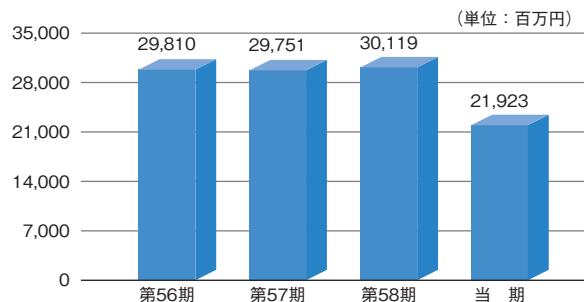
	平成17年度 (第56期)	平成18年度 (第57期)	平成19年度 (第58期)	平成20年度 (当期)
売上高 (百万円)	30,253	35,640	36,359	28,392
経常利益 (百万円)	1,270	1,540	1,259	△555
当期純利益 (百万円)	2,935	1,182	350	△1,668
1株当たり当期純利益 (円)	102.26	40.95	11.91	△59.03
総資産 (百万円)	31,469	35,609	33,074	31,035
純資産 (百万円)	11,140	10,153	9,002	7,149

(注) 記載金額未満は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

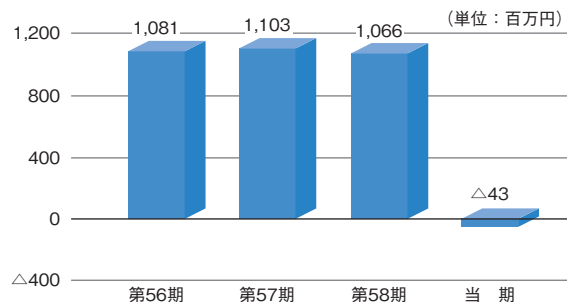


## 単 独

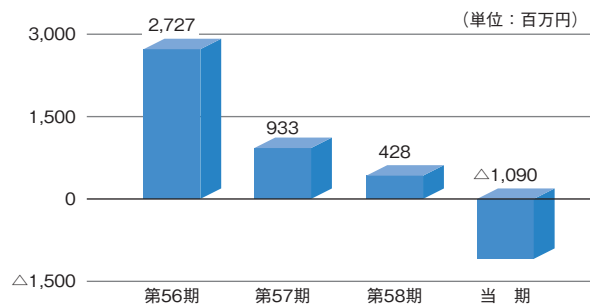
### ■ 売上高



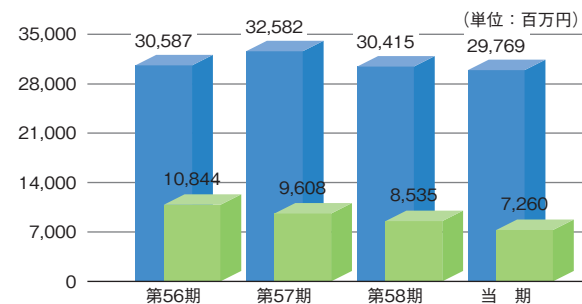
### ■ 経常利益



### ■ 当期純利益



### ■ 総資産 ■ 純資産



## 単独業績の推移

	平成17年度 (第56期)	平成18年度 (第57期)	平成19年度 (第58期)	平成20年度 (当 期)
売上高 (百万円)	29,810	29,751	30,119	21,923
経常利益 (百万円)	1,081	1,103	1,066	△43
当期純利益 (百万円)	2,727	933	428	△1,090
1株当たり当期純利益 (円)	94.90	32.13	14.68	△38.59
総資産 (百万円)	30,587	32,582	30,415	29,769
純資産 (百万円)	10,844	9,608	8,535	7,260

(注) 記載金額未満は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前 期 平成20年3月31日現在	当 期 平成21年3月31日現在		前 期 平成20年3月31日現在	当 期 平成21年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	21,962	20,498	流動負債	17,620	12,367
現金および預金	1,781	4,590	支払手形および買掛金	6,240	3,206
受取手形および売掛金	9,478	7,457	短期借入金	7,750	6,547
たな卸資産	9,731	7,694	未払法人税等	114	49
繰延税金資産	530	389	賞与引当金	—	272
その他	476	371	製品保証引当金	203	237
貸倒引当金	△35	△4	その他	3,312	2,055
固定資産	11,111	10,536	固定負債	6,451	11,518
有形固定資産	8,378	8,000	長期借入金	2,215	6,708
建物および構築物	2,198	2,127	再評価に係る繰延税金負債	1,321	1,321
機械装置および運搬具	594	495	退職給付引当金	2,914	3,475
工具器具備品	735	506	その他	—	12
土地	4,847	4,847	負債合計	24,071	23,885
建設仮勘定	2	24	純資産の部		
無形固定資産	422	312	株主資本	7,192	5,339
投資その他の資産	2,310	2,223	資本金	5,145	5,145
投資有価証券	13	13	利益剰余金	2,056	205
前払年金費用	1,519	1,521	自己株式	△9	△10
繰延税金資産	587	483	評価・換算差額等	1,809	1,809
その他	322	277	土地再評価差額金	1,809	1,809
貸倒引当金	△130	△71	純資産合計	9,002	7,149
資産合計	33,074	31,035	負債純資産合計	33,074	31,035

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前 期	当 期
	自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日	自 平成20年4月 1日 至 平成21年3月31日
売 上 高	36,359	28,392
売 上 原 価	27,493	21,624
売上総利益	8,865	6,768
販売費および一般管理費	7,364	7,162
営業利益	1,501	△393
営業外収益	97	103
受取利息および配当金	3	3
貸倒引当金戻入額	—	27
その 他	94	73
営業外費用	338	265
支 払 利 息	231	188
その 他	107	76
経常利益	1,259	△555
特別損失	806	842
たな卸資産廃棄損	767	—
たな卸資産評価損	—	259
固定資産除却損	38	21
事業構造改革損失	—	561
税金等調整前当期純利益	453	△1,397
法人税、住民税および事業税	78	26
法人税等調整額	24	244
当期純利益	350	△1,668

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前 期	当 期
	自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日	自 平成20年4月 1日 至 平成21年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,972	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△536	△417
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,180	3,105
現金および現金同等物の増加額	255	2,808
現金および現金同等物の期首残高	1,526	1,781
現金および現金同等物の期末残高	1,781	4,590

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 連結株主資本等変動計算書 当期 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 差 額 等		純資産合計
	資 本 金	利益剰余金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	土 地 再 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
平成20年3月31日 残高	5,145	2,056	△9	7,192	1,809	1,809	9,002
当期中の変動額							
剰余金の配当		△183		△183			△183
当期純利益		△1,668		△1,668			△1,668
自己株式の取得			△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期中の変動額 (純額)							—
当期中の変動額合計	—	△1,851	△0	△1,852	—	—	△1,852
平成21年3月31日 残高	5,145	205	△10	5,339	1,809	1,809	7,149

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 単 独 財 務 諸 表

貸借対照表

(単位：百万円)

	前 期 平成20年3月31日現在	当 期 平成21年3月31日現在		前 期 平成20年3月31日現在	当 期 平成21年3月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	21,648	21,364	流動負債	16,006	11,678
現金および預金	1,587	4,496	支払手形	680	242
受取手形	618	287	買掛金	4,608	2,590
売掛金	7,163	5,366	短期借入金	7,750	6,547
たな卸資産	7,782	5,097	未払金	614	344
前渡金	69	44	未払法人税等	42	30
前払費用	64	44	未払費用	849	133
繰延税金資産	431	335	前受金	701	1,178
関係会社短期貸付金	3,655	5,374	賞与引当金	—	168
未収入金	307	318	製品保証引当金	189	222
その他の流動資産	3	3	その他の流動負債	569	221
貸倒引当金	△34	△4	固定負債	5,873	10,830
固定資産	8,766	8,405	長期借入金	2,215	6,708
有形固定資産	4,986	4,573	再評価に係る繰延税金負債	1,321	1,321
建物および構築物	685	612	退職給付引当金	2,336	2,799
機械装置および運搬具	419	303	その他の固定負債	—	1
工具器具備品	536	290	負債合計	21,879	22,508
土地	3,342	3,342	純資産の部		
建設仮勘定	2	24	株主資本	6,726	5,450
無形固定資産	113	80	資本金	5,145	5,145
ソフトウェア	104	73	利益剰余金	1,590	316
施設利用権	9	6	利益準備金	59	77
投資その他の資産	3,667	3,750	その他利益剰余金	1,530	238
投資有価証券	13	13	繰越利益剰余金	1,530	238
関係会社株式	1,700	1,789	自己株式	△9	△10
前払年金費用	1,443	1,521	評価・換算差額等	1,809	1,809
繰延税金資産	406	283	土地再評価差額金	1,809	1,809
その他の投資	194	174	純資産合計	8,535	7,260
貸倒引当金	△89	△29	負債純資産合計	30,415	29,769
資産合計	30,415	29,769			

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書

(単位：百万円)

	前 期	当 期
	自 平成19年4月 1日 至 平成20年3月31日	自 平成20年4月 1日 至 平成21年3月31日
売 上 高	30,119	21,923
売 上 原 価	24,504	17,980
売上総利益	5,615	3,943
販売費および一般管理費	4,430	4,040
営業利益	1,184	△96
営業外収益	212	310
受取利息および受取配当金	153	253
そ の 他	59	57
営業外費用	331	256
支払利息	231	190
そ の 他	99	66
経常利益	1,066	△43
特別損失	682	809
たな卸資産廃棄損	657	—
たな卸資産評価損	—	245
固定資産除却損	25	2
事業構造改革損失	—	561
税引前当期純利益	383	△852
法人税、住民税および事業税	26	19
法人税等調整額	△71	219
当期純利益	428	△1,090

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書 当期 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本				自己株式	株主資本 合 計	評価・換算差額等		純 資 産 合 計
	資 本 金	利 益 剰 余 金	繰越利益剰余金	利益剰余金 合 計			土地再評価 差 額 金	評価・換算 差額等合計	
平成20年3月31日 残高	5,145	59	1,530	1,590	△9	6,726	1,809	1,809	8,535
当期中の変動額									
剰余金の配当			△183	△183		△183			△183
利益準備金の積立		18	△18	—		—			—
当期純利益			△1,090	△1,090		△1,090			△1,090
自己株式の取得					△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期中の変動額(純額)									—
当期中の変動額合計	—	18	△1,292	△1,274	0	△1,275	—	—	△1,275
平成21年3月31日 残高	5,145	77	238	316	△10	5,450	1,809	1,809	7,260

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株式の状況

## 株式の状況 (平成21年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数 …… 80,000千株  
 普通株式…………… 76,000千株  
 第1種優先株式 …… 4,000千株

■ 発行済株式の総数 …… 29,100千株  
 普通株式…………… 28,300千株  
 第1種優先株式 …… 800千株

■ 株主数  
 普通株式…………… 3,863名  
 第1種優先株式 …… 1名

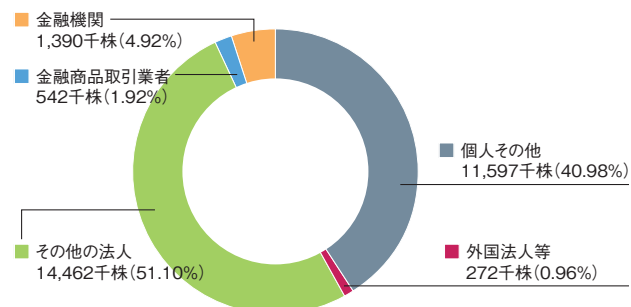
(注) 第1種優先株式は、日本電気株式会社が全株所有しております。

## ■ 大株主の状況 (普通株式 上位10名)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本電気株式会社	14,151	50.00
日本アビオニクス従業員持株会	584	2.06
立花証券株式会社	460	1.63
株式会社三井住友銀行	441	1.56
住友信託銀行株式会社	249	0.88
伊藤豊	220	0.78
住友生命保険相互会社	218	0.77
松島敏雄	171	0.60
三井住友海上火災保険株式会社	161	0.57
吉川勝敏	127	0.45

## ■ 株式分布状況 (普通株式)

### 所有者別分布



# 会 社 の 概 況

## 会社の概況 (平成21年3月31日現在)

■ 商 号	日本アビオニクス株式会社
■ 英文商号	Nippon Avionics Co., Ltd.
■ 設 立	昭和35年4月8日
■ 資 本 金	51億45百万円
■ 従業員数	1,299名(連結) 715名(単独)
■ 証券コード	6946
■ 営業所および工場	
本 社	東京都品川区西五反田八丁目1番5号
横浜事業所	横浜市瀬谷区本郷二丁目28番2
相模事業所	神奈川県高座郡寒川町小谷二丁目1番1号
府中支店	東京都府中市府中町一丁目10番地の3
名古屋支店	名古屋市中区丸の内三丁目17番6号
大阪支店	大阪市淀川区西中島一丁目11番16号
福岡支店	福岡市博多区博多駅中央街8番36号
甲府営業所	山梨県南アルプス市宮沢568番地
行田営業所	埼玉県鴻巣市赤見台二丁目5番3号

## 子会社 (平成21年3月31日現在)

■ 山梨アビオニクス株式会社	山梨県南アルプス市宮沢568番地
■ 福島アビオニクス株式会社	福島県郡山市待池台一丁目20番地
■ 日本アビオニクス販売株式会社	東京都品川区西五反田八丁目1番5号
■ NEC Avio赤外線テクノロジー株式会社	東京都品川区西五反田八丁目1番5号

## 役員の状況 (平成21年6月26日現在)

### 取締役

代表取締役	鈴木俊一
取締役	井田敏
取締役	山下守
取締役	根来周三
取締役	鈴木延男
取締役	川島雅幸
取締役	西村知典

(注) 西村知典氏は、社外取締役であります。

### 監査役

監査役(常勤)	津田好美
監査役(常勤)	石川俊樹
監査役	山本徳男
監査役	山本琢

(注) 山本徳男、山本琢の両氏は、社外監査役であります。

### 執行役員

執行役員社長	鈴木俊一※
執行役員専務	井田敏※
執行役員常務	山下守※
執行役員常務	根来周三※
執行役員常務	鈴木延男※
執行役員常務	田口多可夫
執行役員	川島雅幸※
執行役員	関芳雄
執行役員	露木満
執行役員	小松原成介

(注) ※の執行役員は、取締役を兼務しております。

## 株 主 メ モ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
その他必要のあるときはあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎0120-176-417  
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。  
<http://www.avio.co.jp/ir/index.htm>  
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡下さい。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



〒141-0031 東京都品川区西五反田八丁目1番5号  
TEL. 03-5436-0600 <http://www.avio.co.jp>

